



Press Release

2023年8月2日

報道関係者各位

会社名 第一三共株式会社
代表者 代表取締役社長 奥澤 宏幸
(コード番号 4568 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 朝倉 健太郎
TEL 03-6225-1126

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する起源株1価mRNAワクチン 「ダイチロナ[®]筋注」の追加免疫における国内製造販売承認取得のお知らせ

第一三共株式会社(本社:東京都中央区、以下「当社」)は、新型コロナウイルス感染症(以下「COVID-19」)に対する起源株1価mRNAワクチン「ダイチロナ[®]筋注」(DS-5670、以下「本剤」)について、本日、「SARS-CoV-2による感染症の予防」を適応とした追加免疫における国内製造販売承認を取得しましたので、お知らせいたします。

本剤については、2023年1月に国内製造販売承認申請を行い、今般、COVID-19に対する国産初のmRNAワクチンとして承認されました。本剤は、冷蔵(2~8℃)での流通・保管が可能となるため、医療現場での利便性の向上が期待できます。

現在、新型コロナワクチンの特例臨時接種において、2023年5月開始の追加接種にはmRNAワクチンとしてオミクロン株対応2価ワクチンが使用されています。また、2023年9月から予定されている追加接種にはXBB.1系統を含有する1価のワクチンを用いる方針が示されています。

今回承認された本剤は、追加接種に用いられる起源株1価のmRNAワクチンであることから、供給を予定しておりません。

当社は、XBB.1系統1価ワクチンに対応できるよう速やかに開発を進め、早ければ年内にXBB.1.5系統1価ワクチンを供給できるよう取り組んでまいります。

以上

ダイチロナ®筋注について

ダイチロナ®筋注は、当社が見出した新規核酸送達技術を活用し、新型コロナウイルスのスパイク蛋白質の受容体結合領域(RBD)を標的としたCOVID-19に対するmRNAワクチンです。

ダイチロナ®筋注の研究開発は、本発表のXBB.1.5系統1価ワクチンの開発を含め、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の「ワクチン開発推進事業」及び厚生労働省の「ワクチン生産体制等緊急整備事業」の支援を受けて実施しております。

当社のワクチン事業

当社は、インフルエンザHAワクチン、はしか風しん混合生ワクチン等を中心としたワクチンを安定的に供給することで、日本の予防医療を取り巻く環境の充実と国の安全保障とも言える保健衛生の向上を目指します。また、当社グループのワクチン生産機能会社である第一三共バイオテック株式会社との連携を通じて、国内でのワクチン事業を展開しており、新興・再興感染症の発生時に国産ワクチンを迅速に提供できるよう、mRNAワクチンの技術および生産供給体制を確立し、社会の安心・安全および人々の健康を守ることに貢献してまいります。